公死となって阻止せんとしてある に握ってわが日印間盟軍の進騰を

振點を確保するに至った

即地を制御、阿要以攻略の戦略的 かくてバレルの第廿冊第三方は

我能够に被集し、今まで後方に必

日後

(印緬國境前線 〇〇

マブール道への対象を増大シスト・新に乗りて土地に来郷、わかに、歌なし、民間田を〇の知道に推郷・イディ・甘大日午前カロリン議郷メレヨン・てその民職「田郎大学活〇〇薫即口七日同国」とれる。

てその一種を暗聴した、わが方が

又科系の定員縮減

悪へて 素の機能を変える。

以上にようて理科系は人縁定

続し架体の研究が関とくもに外域

西歐空襲下火

理工科系は工業専門學校を擴大

、専門校の整備

において、約五曜六分の網線ととなうた。しかして石の網計にとなった。しかして石の網計に

方理科系観複の透析病がにつ

こなり、出動機数の減少してゐる。 下六日に至りドイツならびに西ぶ の飛行場攻略に主力を注いだが、 (ベルリン廿六日間盟)皮傷軸空 ディマブールに重壓

能品の観給についても同様の情質

サイボム、シエナム前間の第一線 地を意識して占領、敵と至江四職

~

ヨト

マ猛攻

加へている

大型十九機

メレヨン來襲

としたが、わが所在部院は寝らに 南島西岸方面に敵 25、四条が死【海口廿七日向盟】廿四日二後海 の戦闘はいよく、護魔苛烈の民を

版、1個人二四六五高坦東側の台

た英人部隊二百を一兵も行る子殿

の結構を行かなどパレル死学に確断で対象を特集的で開助

この日数の地上肥火は熾烈を極め

雨な踊らせこれを炎上せどだ。

補給をうけ一日紀二千銭の扱いが

自九機が死職したが、わが所在部 前午後にわたりラバウルに叡殿線

際はこれと参戦、その三種を 原

三概を暗破した、わが方地上の酒

スプザの域は選目競侠戦災の

せる低か市街の単葉施設に自躍の 省西部)に進攻し同心行場を勝略

時わが四重機能機能は配市(河南

の攻撃も日を送って熾烈化レクト

(ラベウル廿七日同盟) 廿五日に

またズブザ方間に對するわが方

[OC廿 P日同盟] 廿五日午後1

した模様である 理を確地は十九日以來機遇を的始 か、ジョトンマ西方二キロの域

ウルに

盧市を猛爆 陸鷲河南に進攻

在部隊はこれと交職、その一

经

更新和三年日十月八年九州治明)

大英のわが詞味船に到する**不**

募る敵の鬼

の外交的抗酸であるでは戦の昆心

は微動だもしないのである。敵の

おいてもこの積酸の不安行動に對 ねばならない。原係首相は映画に

て歌の触載さへ物種したい。一片、れらはまたそれ相應の感覚をとらである。しかし触ばされに対して、句の知素の沙汰であるとそればわ

きものではないが、國民生活の安 定といる大局から見て、政策的に

レ驪旗車紡色三のり誇・ペーリデ下の援支軍皇

直衛陣地突入

軍民國度印るす撃進を林密

員廿六日製」ペレル東

会議がお戦争を先興とが難して来しいよう性には強な場合となった。人能験を第二戦に強く輸出

ル要塞陷落近し

は廿八日韓國神社に行客、臨時大「東京電話」長くも「皇后陛下に

ス重が叛亂ギリシャ度喙、軍艦に回復した、廿二百夜イギリ家会輩の間には今や秩序は完

層征動質の電際に能りては克く

米英外交會談終る

東米大阪ワイノテントが美國外相

する『恥吹』としてこの停止を要 トに到して抗酸を提出、反播動車

エール図が参阅してゐないのを理 第2個へてあるが、ロンドン死電

は反稱期陣営の戦闘が急速に増

【リタボン廿五日同盟】アンカラ

と(ロ)食棚の増養及能を凝耀し得る如く糟

工場、既務場に對する動員は通、動員方針及動員期間=(イ)

第00一《 及第一部二十八四一

加設軍業及基份事業

系學生生徒

中學校

土國駐日大使更迭

るの裝備の離船は一切不明であ

局の要求を勘案し部皆の他のものは機務局に

道に於て行ふを原則とす機段駆保に連ずるも無路似所は

由にエール代表を招願しない方針

して参り甘芸日ステデニアス

事所の残虐な機動散析は文明に当

によれば來るべき英語國議會にも

質の制制を行ひ、質問に問題をる 握し純粋及剧科の種類、風年の程

> はつて
> あた
> 事
> 変
> か
> ら
> 見
> て
> も
> 會
> 談
> の 談した際にもグーゼフがこれに加

内容は逐一ソビエート政府へも通

、依る機関性の破擬に努むべし、

ど米國務次官ステテニアスとの長 ロンドンで開催されてゐた米英外 ンドン來唯一過去二洲間にわたり 【ストツクホルム廿六日同盟】ロ

米の牧師、

蓍

ン來電=庁福軸經濟救海復興所蔵

大戦の戦費一兆ドル

シントン來館ー凝築消息筋の帰ら

ウイスコン【ウスボンサ

す所によれば米國海軍の超響級職

豪州で巡洋艦建造 京駐河大便に任命した富士五日砂 損長ムザフェル・コエケル氏を東 **死紀―トルコ政府は外務省外交委**

述家盲爆抗議

時間にわたる宮賊をもつて一個終

問題】ワシントン來館ー米國著名

英、エール壓迫強化

次大阪の販売につき次の通り参表 副議長ホンドリクソンは廿六日今

> を終へ、量子散隊に職人されたと. 総ウイスコンシン能はすでに厳峻

の牧師および署派家廿八名は敷日

授助訓練の質な収めしめんとする

彈

幕

祭に新に合祀された新祭神を伝じ

られる画の出された Jの日
墨后陛下に
広略式自動

柳着、鈴木宮司の御先導にて御手 単層などて午和十時宮城御日門、 心御修設の御後、木殿と進ませら

日附則令を以て半胞谷與隣の決蔵非常膨勢への全面的切響へともいへる。異能動員機制」が各道 總督府とな

思慮の 反攻艦々艦烈 を極むるも一大東部の戦局今や最高朝に達し数 漢定、軍に政務機能から名道斯と知事と消職を發すると共に滅大総長、各官公私立事門駆役長、 實情に即し創意 歴校長宛にも消牒し『祝校別祭徒節員基準』を示した、これによって本所に展徒動資本部が設置 各官立際夜長、各公私立軍門局後長に後せられ同時に「朝鮮總督府島佐勤豆本部規定」も訓令 温馨在動員本部を組織し低下學徒の動員を統制道器することになった 教育の完成ご増産へ 此の間星國を中核とする大恵能共 際間の建設は書々其の歩武を進め 途り、機関制徒亦霊々文武の修練

駆

直に削減の勝利に通ふものなるこ

とを自催して作業化率の吊上と著

存

観なく極けしめんことを期すべき

の温速に午業修文線武の成果を激

朝鮮總督府學徒動員本部機構一

魙

學徒動員實施安納

3、照監配職「塵作物等に對する

第一學年は荔時緊急なるものと則とし道手動的すること(へ)

一依る學校別學徒

| 部

經連企理路腦

大學專

のなれば、常に矜持と観戦の態度 徒の水分を以て質単修練に従いる

影徒に對し他日巧理の整公よりも

本部是は必要に順じ各部内で班

今日間別の泉地なる世身を要請す

「審項子、連絡及機能な繋ずる事、「批判各級性の動詞に関する等項資格等」、「練合企製に購すよった契約助員部第八條「各部の運動を設定し続すまった。」の科系原件の動員に関する専項第八條「各部の運動を関する専項

意識を添々深からしむるものとい の増強と関々相俟つて廃徒動員の

てロンドン標在中前後數回にわた ステチニアスは米英国歌と併行し なる戦果を収めたかは不明だが、 了した、今回の曾読が楽して如何

は見るに忽びずとしてルーズベル

成して以来、順にエール政府に配

一兆ドルに達し前大戦の謝戦福在巡に戦争として支出した領域

と言明と

今次大戰物赞以來於戰谷國法規

ウイスコンシン號はすでに就役

死間―脳洲外相メーキセンは甘

り 順次之を行ひ 作業数率を 低下する

動員は通年動員と

こ(ハ)工場、喜業品は必要に属じ適宜

效率を低下することなき場合は

を行ひ作業の種目等に依り作業年動員とし高優等より順次これ

合は循環が存を将随

順三、經理に関する項原四、其

部に隠せざる場項

上級は通年

動

前属州各地の地する非人道的盲機

時局は更に単独動員機能の制制的 整復別感徒動員基準を明かにする 生に、 更に 単征動員 の 限力なる 能運動を現せんがため不行と思 「いる動物経動に掘身し來れるも を促すこと切なり、明ちなど 域はしめ、取力の飛躍的場面 でしめんとす、これにより

の知能技能の程度心身破盪の ・雲の弱力闘滑等を耐る鳥朝鮮和等一條の弱力闘滑等を耐る鳥朝鮮和立、選

状況と無じ数職員を中心とする

第五段 際に動資本部でだの言語を軽く 態度及参照に本部長の命を張け 部員は上司の指揮を取け部務に

医

寒口學作助員本部の惠教を約理 寒口學作助員本部の明報後之を命ず 部州は上司の命を軍行部務を撃 部屋は上司の命を承付部務を構 次ドは本部長の命を承げ各部の 本部長等故あると法に次訴之を

参事

配置するを原則とし選手教員可 後の就聊とも睨み合せ分配して

1、助員方針及動員期間॥(イ)

のものは臨時緊急なるも になった。第二國 デを主とし のの、第二國 デを主とし のの、第二國 デを主とし のものは臨時であること。 のものは臨時であること。 のものは臨時であること。 のものは臨時緊急なるも

も補倉の完備せる場合に限り数

ること(二)題科

連じ工場、事業場への動員は工場での動員は関係の動員は機能を破れば過程の動員は機能を破れば過程の

工業學校校

総力に付通生動員とし商選年よ

場。試驗研究施設

での導攻騒科にほじ力めて卒業で動員規間=(イ)第三孫年は

魔工局長 **腾**爾局長

動員本部規定 本部長、政務總監

多彩課長、企業課長、職山課長、網鎖課長、軽仓院化學 文書課書配官、人斯郡塔、斯經課芸、物經課具、地方課長 **課長、燃料課長、管網網告、林藍課長、**

選獎、航空課長、工務課長

年に臨時緊急なるものに動員す 生業場及試験研究施設等(ロ)

農業學校 監証部―当に於て行ふを原準じて取扱ふこと 製すること のる場合は風校を工場 大學品學校鄉工關

高射砲火は熾烈を徹め、変た多を河じただけであつた。しかし 授くる影核の影印を王場、事業とと(木)特殊の専門的技能をといった。

の無鑑配続は総務局、其の他の影響配録――専門総校程院のも 各 1種學校

悪年及第一級年に中

職交科系に楽じて攻 極文科系に選じて取 學校 じ食物の環要及が重荷、國防施・応を原則とし土地の狀況等に信いたと、関係が工業の機能となって、政策を表示して、対策を表示して、対策を表示して、対策を表示して、対策を表示して、対策を表示して、対策を表示して、 することで側端配置一端に於て 女子の學校

すること(ロ)工場、事業場に化し其の影像の生徒を之に動員

を含む)等の作業に動きと言葉又は工場、事業場の環産及質荷、 る助員は農働化概料以は郷工職保に準じ其のは郷工職保に準じ其の 機保に進じて取扱など 但し強調中十中沖中 一、動員方針文字功員用一、一四、一面業學校

動員方針及び動員期間、出助

緊急に應じて下級を

(イ)可及的医醫核證備を工場、助員方針及助員提闡、出動先

(屬此名 株式會赴于霞南區) 即 朝鮮玉 置樂品 藤菜株式會社 販賣元

則とす。

の場合を発信す(ロ)第二 おに準じて取扱ふこと
 出動先=大學器門圏校交科系 狀況並に心身の殺蔑を考慮し過 智なる作業を選び出助せしむる

中京虫殺滅 ・ 一度觸れたら必ず死ぬ ・ 一度觸れたら必ず死ぬ ・ 一度觸に散い、 ・ 不順の周團に撒い、 ・ で腹る。安眠可能

190

(ハ)出動は運動を建師とする り作業効率を低下することなる 配符の取扱で就ては木府に逃じ一般間することを辿りたける開盤を見れるがありの機動性を 精進 骨關 の職場。この持場に、たいき込見よ、われら、正義の怒りを、こ 以解役型長 **鹽** + んで、兇悪不逞の反攻を、ガッ きジンに、うち碎くのだ。キと、はねかへす。 敵、何するものぞ。 飿 節 年必ず勝つ 者に際ばれてゐます。 炎 パピリオ • ٠ 骨軟化症 伊東化學研究所 川動

濟車

古社代

これで 町の町の家庭機関機として 一番の町の家庭機関係と 物の開政者会弁良太郎博士の製薬 1肉に微申込み下さい。 骨膜 炎

凡ゆる有熱疾患に

效果

確質

一分の病の子僧法」册子通量 人一册限り御品いたします。おは 香は、東京市小石川區小日向台町 二丁自五子三番り 総木コンペニ 大郎 (骨の病の甲冑法) 册子を一 初めての方へは、金井良太郎間

自水製藥研究所 STATE TOWN HOP

歌の意識的に行った故意の非行で、捨てざるや得なかった彼等の本性 吹も弄すものではなく、それこそよって別なくも網上の間間を脱さ - が疑約による病院船たるの標 この無数と贈じ去ったアングロサ クソンここだヤ民族を末だ人間と 心はもつてある。この世界版第に 知るべきである。しかしわれらば して死た。現在館局が次から次へ るにつれていよいよ際緑の既を増 もの、供給がますく配摘さられ を急げ 綜合配給制

これを抱合せて個盤先に届けると

文語い心臓で知らぬが佛を含めこ 理をつくした抗震は自阜や無用と「信ぎる。おれらの類が後の緒はす んであるのでもない。最初から良 心などという人間の意心は持ち合・すべきところでないが、この時期 是心は無導してあるのでもない。 のはいかなるものかわれらの開知 を説明した。その報母手段なるも であらう。勿論足らびる物質にす

7十四日の構丸の場合もさってあ

論が非常の作行といふべき 交際はずでによる回に及んだ

そのか、町では野荒

本年一月廿八日の百野丸

して断手報が手間と出つべきこと が含む得る。格局はこの綜合試給 今日これ以上の民業はだらくあた。具態的の製鋼はこくに省くが ではないかと思ばれる。しかも物 が遅れくば遅れるほど問題は難か なる一方である。政府は決略

はも早や全般の最新制度の根本的 口てこれを組ひ、既に支障がある の自由契約の除地が修ざれてある。 響の態度においてすら混合用熱波 **發車の積極的意識があるのではな** 量がなりと信ぜられる施策として 配透期時が死なくても例へば小 その他代用食品の担合さいに給所 成績をあげてゐる。しかしその最 を探除するといかところに行政力 といふならば他の手段を以てこれ

に開始するのは明氣ある行政監察 者としてとらざるとうつである。 ことや、報機配給の名において初 しんであるといる傾向の特に強い
形が物々交換のために備へて質悟 がそのまく入りこんである。 なのは綜合的操作によってすべて や配給制制品以のもので関西で がらもデイマプール方面に對する を確保してあるやうな記載をしな 作の殴力増大に脅威を成じた ある! ないとめくまでコロマ 教助された。ヨピマ

一つて、丘瓦機林を同方面に増加す る級に解地を補残するとともに る一方、プリベマ東方八キロの〇 の確保に必死となって必ずが コヒマ西方八キロのジョトソマ、 〇をはじめ プリベマ県西を 連ね 敵は翌日別軍あるひは極急機でも 「々築結して テイマブール道」 関する制度非常指摘方能に近く器 いては大剣記員の制御をはいり悪 区景性記)文部名では、動物と、概合に著手しまうな科芸典板につ 進めてゐたが、その大学の整理統 等域門別をの意思なる整備総合を、大規定自の時均三分の一段度、火機能量を減りにご言私立大器、高一時および物料の人器定員は合來の

の消費者と同一の質問を称する物 | 六一路 地を制 院してコヒマ問題 系統の概念の指式も一層での緒に ついたので輸出後の交科系大學、 合を終り御絵の残板についても棚一一様形にそれぐく論戦することを 料系は門屋板は、米の成ね一分の

概果、関聯に職物とお店部式料一、大瀬戸節科な教科におい聴かどによる自然的概合を選めた。自機として堅持をづめた結果

的に比し約天然間の細葉とな 領域以數法約五十二百人、整備

西川校 大河東門部を含む)

部および資料についてに始とこの部との強性を対した。概不は短期養成を主節とした

(一)質問題被で統合したものは

九州經濟學門原被(九州安語

から中部へ侵入したが、密診と、から中部へ侵入したが、密診と、ない、というのは、のののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、のののでは、のののでは、ののでは、ののでは、ののでは、

動員方針及動員期間~(イ) 機能學校及び補知山高等的素學

校、院波工樂廳門二校、石油工業門四夜、滑祭工業場門 日本キリスト教師學は、慰彼 **製四風房專門風松(製四風房**

山下杳察使

國

民學

校

第三班京城へ

とうが徒の配置は道と於て行る

面は廿七日子前八時

備考

公型に加じ機に開み影をの重

山を查察

時種を余機なくされ対機

工芸器役に適じて取扱なこと

との他十一枚に及び右 最も疑切であり、かつ相強の 風に「招極大風」があり、高い風 統合ならびに歯元などを撤脱した のであるが、そのほか私立大朝の ン大学については目下道物中

選挙表をい止した大學では「風間 後に続した大学に 墨がらで、また文科系 首部の 「公前館へ 三班成廿六日編述宿心、廿七日維日同即在祭、清學在祭を終へた卵 廿六日夜木精酱、廿七 地状況を聴取した 福舎を出で同九時世分 前中は単東局の高端室 定通り午前七時廿分

てどれを行ふこと

消

息

後十時〇五分同地發、京城に 聖務局總長 参山へ、五月三日嗣城豫定 〇計員幾氏(物鮮有類炭麴社々長) 約三週間の豫定で廿五日朝京城

高度の過程機形は減量の組移

元さる一番観りため廿日飽田取物 治蔵家がたく各地の 島施長は平安南北道の 出道を視察 ○井上正明氏(大阪解船取務)入 **◇**櫟木幹雌氏 (同取締役會長) 同 上冊日開城 城中廿七日歸安

中廿六日夜酹城

であらゆる骨の病を更生させ質量

内相、地方吏員に要望 相内障安

政施したが、豚敷令の全文左の如

一勅令全文

を發表、全國市町村更負の新記室 漢ならびと自治功勞者素形制貨施作順環を期し動物的な市町村長度 に際し安藤内相は次の要旨の談話 東京配話】洪成下地方自治の振 堪へざる所である

任官を以て得遇す

一條 京都市。大阪市、恆瀬市

に開する件 市町村長の待遇

長年朝任官を以て待遇すること

前陳の規定に依り勅任官

治の散粉はいよく至きを加へ 惟ふに時週の進展に伴ひ地方自 がある、この故に政府は昨年六 に原理し時期克服のため戦力結 安藤內相談 の歌の中心当任を抱ふわが図の 調を外り被らず、地方自治の 員に誇と氣概

问處理する町村組合の管理者は

第1一條 都道府頭市町村その他の

務大臣は自治師功難を特別して

その。他公東組織の関邦的整備

警殿江口親憲

節ラルミ節においては曹華 が特徴は内地と基って凡ゆると

ベイヤーは、乾まで

れば計量石、明化アルミ、配修苦

アルミ、マグネを増養せんとす

に行きれれ、また朝鮮の撃金曜工

部門の場面と併行して進めなけれ

ばならぬ

一なる、即ち頭群は極めて良難に

して機関なる能力を有し、アル

法などれて軽金融の製法と利する

ものは全路を目話せる意味とおい

産を聞らればならぬ、そこで配替行、累針、ピッチコークなどの増

他にこれらを増産するために徴

行って本年度朝鮮に負荷された輕

金融の實行数版を監督に選成させ 所は過形響金隠工場の現意信用を グネ部でいるいては直接意元法、

地方公共国際の職員にしては地方公共国際の職員にしてい

は表彰状を授助してこれを表

蝦をはからんことを期した。

第三條町内質、部路智及びその

四條 自治期別ではこれを石肋

一條の例に描じてこれを実践す

に関せられたるに依り文は観戒したの刑

んことを切留するにほかならぬ

と内態の 比算に略 半々の状態に ・

現在の新設或に拡充計域が完成

た朝鮮の際金融工製が生産資子を

を議し得ないといふことはい数

り、東京標金調の指揮は開放機器一見した報覧であるが、延襲員のの一を一階級配合せるとが記載である。い、第日内地派行の際に内地で置一概ある漫画機器の確立、展画指揮した。東京によっている。

残りの 五階は 年間動かれぬと

いきとなけかい、一郎は全く

では、 の関連とは、 では、 の関連というで作っても、 を関うない。 とはする影響というで作っても、 を関うない。 ないうな、 のでも、 では、 のでは、 のでは、

配がわからなかった。間の歌

展の機相を呈し、

トの場所にも押して俟つべきもの

備の会能等度種と目下都的絵上で

元來朝鮮は内地に比較して御用職

機管力至関係業者の加風的努力の

機権が弱く要請されるが、特に担

響金属生産質圧量の遺成には先づ響合ねばならぬ。本年度における

徴用者を激励せよ

士文は産業に対する認識が足りな

ある新設工場の建設を被切削り確

世にかけて飛躍的最

10年島

の原料たる巣的、無環族などの有 **帯化アルミの原料さる数石、電極**

力な資源に歴史れてなり、マグネ

であるといへよう、かうした大き 金属工学の機能性を約束するもの て多種多様であると共に、機動性

三部門においてはアルミの原料を 一 三原料を仕らめ、間原料の水量石

島温明夏は紫氷状を

の遊を開き、事くその時

地方公共関係の職員にして放節第一体。都消付縣市町村での他の

自治功勞表彰令

能ふど今日大東田の名闕諸民 容無下に聞きれつくもなほかつ 一般抜きつくめる、しかしてご

待遇にあって日夜教々として傷 るにも抱らず、脈して非豫なる るにも抱らず、脈して非豫なる でなって質く勢效の励る大な 緑柱石は一層とつ芸酸化ベリリ

廿一頭、モナズ石で広同じく三 一般以上大師。原信子解論

世五國を加弾した網で、食リシ 空三〇%のもの)及び風信子M の新者はが眺せられることになっ 制度が消力され、資金運動化防止

の面倒に加し、特に戦時心衰弱が行格達し新規整公の観を致し、既市、既町村一致協和の情を展げ、もつて國家の味満に振りられんことを傾つて口芸の次等である 宣を個し今後京すく B園自治 らぬ、私は今次勢等の制定を機 らぬ、私は今次勢等の制定を機 價格を指定、廿六日附官報で告示 機器所では今回頂温石の最高販置

器を減じた額とする

あるが、一月示現在の集計より推

國語問題の現状

野

郞

石炭積込設備へ

れてある、即ら四月廿日頃各道よ して一朝七分院の突破は硬度配さ

消化質機の報告が出拗つたので

化文對決

伴び我々の言葉との薬路を使用しなければ用が足 國力の護民に一斯く聞きつつも何が故に斯くも多れ 泂

브

関人の冗謎を蝦を趣所に適つて居

る馬であるが、此の領域でが我が

にある。如何なる語を如何と

据 新 各 第 各 方 如 用

な別に、我が國の國語教育はこ

角田本家 角田 市大阪港駅石田布屋町

产 金

多分に好感を持つてある事も筆は

特色である。現今派指の多点を

漢語が刑事である事に其の母胎 用ある支那の響き方も遠く及は

新に奬勵金

新聞医器の製造と不可吸の種元素 稀元素鑛物最 高價格決る り生産地域を魅より最初機量壁。用することくなった。管理食車深渡の場合は右四格よ %を増す毎 しても奨励金を交付することゝな

助を廿七日数正、四月一日 り右に伴び戦闘設備奨励金交行規 府は本年度から石炭種込設備に対 石炭の修装能率を高めるため顔管

手の石炭積込額前に対しこれを適

って原生三月が目標額の一點程度 より十七年まで過去五ケ年間に巨貯済目標を決定した昭和十三年

れてあるのは終ら不思議を守であ

に供へる手段に過ぎないのである

2合はせて新しい表現を合成する

ことが出來るといる事も見識し難 ど無形態である所から、自由に繁 れない。又支那部が文法的には殆 り一方之に伴ひ漢字音に對しても

いいである。

以上の様な薬剤の特色に耐され

る内地では眩びは適るのがも知れ

此様な政育法は國語のな話され

略を覚でんと

るならば、学句の

せ字句の経験は未積的な事に過

経験から始めたければならぬ

A

肺肺門尖

脚数三朝アリロの 脉炎) 二朝了J

言葉は結局自分の思ふ所を相手

目標十二個国に対し一億五千萬国 るが、二月天現在の消化落積高は金融機関別の深積高を集計中であ

お願く用るられ 一支にかと思ふい選ばが郷草の灰が成く用るられ 一支にいかと思ふい選ばが郷草の灰

増の十三億五千島間になってをり

のが、日本人とし

既倒されて既々漢語に確言代へら

れつつあるのである。

外地も準用

【東京電話】政府は昨年七月企業|大概次官よりこの旨を報告、五月 解散減資の抑制を解除 資金浮動化防止の新措置

た増製を強減されてある

常に基場其場の思い付きでしかな

知らざる民衆に國語を知らしめる ても現在の朝鮮の様に國話を全く

で示すといる工台と埋い分け、 で示すといるでは、 家はり、 関係を示す部分を認名で で示すといる工台と埋い分け、

意味の方により親しるを感じ、固能の方により親しるを感じ、固い て、我々は多くの好き回有の話號

政治のではないか。朝鮮の文人の 等く國際作品が交法的に完全な場

もしその模倣に終始するならば、 ない。然んが地及び大陸、南方で

ぜられるか既はあまりに俗に感ぜ

られるものも多々ある様になって

食があつても魔人階級にだいて不

元を法のは遊するに國語の教育に

※終で『図屋器歌』網盤委員園を「町二ノ九六へ生居」 ・一〇文人選國母器部園では廿八日 のため廿七日夜東上

(小說家) 水原本

感

風機で開業を拘信し

◆田田三郎氏(朝鮮映新加景)

と云へば必ずしもざうではなく、

を著へ其の將死を墜へてあるのか

はないが、然し不管に國語の場状 語の真正を明な要が紹かれないで る。成構最近國際の貧酸を能差國 い事でありながら、案外語院にさ て質然演奏に考へなければならな

然しこの考へ方は随る非文化的は

もので、假令此が容認されるとし も宜いと思ばれるかも知れない。 から、何も回倒な事をいはないで

華中、華北間(上海市

士一版に対し一個が至一個五十四

して三月中の恋極高は一億国を下 を消化し來つた従來の質問より推

織物はその賦存状態から見てすべ

が関係が開発を弾出するとなった。 が、その第一般学として源社石・ が、その第一般学として源社石・ で、その第一般学として源社石・ で、またが、原信 子郎、原教女び、 一・ 哲本企とする面積であった。 では難し ・ で本のというでは同様であった。 ・ ではない。 ・ ではな 、資本金十萬間以上の愈社のの解散および登録全部の譲渡 法令を必ずし順行施行することと 一日附をもつて右旋行規則の敗正 千圓以下は特

盟」華中より華北向け遠金は去る

無関心な遊はあっまいと思ばれる

その最も続しむべき結びとして、一く感ずる所であらうと思いる

中で我が國際自分の言語に関して い場合が多いのは、一般だ道機であ

まりに解然とし過ぎてある事は、 ても現在の様では数へつのにもあ 必要の起った場合、實際問題とし

寸此の問題と開職した人の等し

らしめる長所を持つてゐるから

現代の青年層に於る漢語の最一間然する所があるからである。

る。恐らく高い文化を持つ國民の

施行す

定、廿六日附官報で告示した、新 リシウム雲母の最高吸質関格を決 本令は公布の日よりこれを

は勝兵又は開東小関兵官されを

で観客所は十九年度より移及これ

てをわが半島に期待されてあるの

則形に抑制して來たが、八十四議 よび同施行令政正によって解散法 について政府の許可を果すること としこれら朝鮮の解散、微質を原 決勝をすることに定められてある 配金および御覧掘戻金については一種北場保室信間において御篠田の が、今回企業整備資金指層法施行 て分類所得税を除いた全額を特殊一については安全を無能限自由 現行臨時費金調整法施行令に 【東京航話】會社の機能成正の分 殊決濟不要 ところ五月一日より正常なる資金 可されたが、さらにこれが修阪を も機能するとこなり過酸來越中、 一戸廿七日五千元を限度として許

交換を五月一日より開始する間廿

フイと日本内外地間との処理為替

文は報國協会の交付を勧誘する 込めと称へ関係語名、貯蓄修券

反行為を行つを時は行終者のほか人又は個人の學務に関して語

の好観で七月より配車を受ける一・出来をことは大成功であつたった。輸送についても熱洲圏側(創生的の三世に達する事を獲得しても、一般を使いことは大成功であった。

學七民位置子

証長「任となった 」 はれない に無難らる 簡様とも保合動意は知

かその法人又は個人も制金刑を

盟」マライ国政監部の政局ではマー

右施行令以下就令は廿八日公布、 ついては特殊決勝を不要とした、 規則の改正と即題して右施行令の 野春び、一千四日下のものに 魔を動物量券の公定レートは他ま 館で高でそれぞれ談話を感染した でこれを取得するに決定した右に 関し廿六日諸幡銀行ならびに大使

> 類で最高温金額は一人一ケ月一千 太、南洋、國東州相互間で馬替種 ライと日本内地、朝鮮、台湾、樺 六日競楽した、爲唇変物地域はマ

> > 空機の散納資金、商型などを図の貯蓄、保険料、関防球金、防

所規定、取時次者での仲敬は中一、取時度先貯蓄量がなど際時間

帆船、機帆船で輸送寄興

入城の井上商船専務語る

個々祭で支那つ物語することは

め得ること人なり、右の否定を水平失國債能勢衝災額の否定を水 北部及害により貯蓄情勢又は報

大阪勝野産業が上に開丘は十六日 観念教養が成代、十九年成安党教人が開始を開発など人で記述して、「教芸院、役が選任、領導九名、監しくこうが、独な、

見して左の如く語った

の被曹揚院会に對しても特殊決計

人の機能球菌の分配金および自社

五月一日より施行される

各連、一月の

割七分增

解散に関する制限規定(第四十九

整備管金指置去施行規則中會社の

一八年度に於ける各道の貯蓄資料 資金工程好調

郵便為替取扱 十七日同一関である

國債の低價買漁等に嚴罰 戦時喪失債券は査定後新交付

(く) 前名頃に跳ぐる行為を除く (く) 前名頃に跳ぐる行馬を除く

別代表任命 七回盟1

的問訟と第世二同定時職のを開き

朝郵八分据置

資本金六億四千萬圓

一年以下の数役、三千円以下の比に数反する行場をたした時は

配の治安維持に借りせることにな

當罪任

明氏を選任艦者投解田外茂夫氏船

施管特別代表に任じ、北部ルソン てプロスペロ・サニダツド氏を大 比國政府情報局は廿六月付を以つ 文は岩図協券の図への無度観点(ホ)条りに図信置券、貯蓄個券

その他の特別の指数を認まる

七日の定例不可能能に行いて於照して日子を非無に行う名類の指摘機器一一基内では、日本の不可能が分子る関係することに決定した。ようて甘一十八年世代行の名類の指摘機器一一基内では、日本のと思っても言いた。 【東京電話】政府は臨時資金調整 | 他の低個資源など國民の影響 置に見ても内地がどの位置を成士一その恵言左のがし に席を譲ってゐた、この一つの事 を阻害する難ひめる行鳥の取締規 となり廿八日的屋報で公布でるが 付規定を五月一日より爬行すると 失せる形容的姿と報酬研奏の新交

汁などの増売が極めて、重要であっき大事にしてあるかを知り得るの である、明鮮こおいても一般民衆が高さる。 命に大きな問りと風残たる鬼概念 り、一方質用勞務語自身はその使 して披露放敞することが必要であ 一、國債職等、貯養債勢交付署へ、國債職等、貯養債勢交付署 (ロ)公衆上り貯蓄券を券面金額 数除したものが指定される されるが、現在銀行、照明局の一般と至部で満洲よりの財給に奥たという。現代の一般であるが、その用がは、世界の一般であるが、その用がは、世界の一般であるが、その用がは、

野藩文庁皆附雍之くは凌鐘の縛。関木の合計・つ萬の千石の餘人交 (二) 添りに大軆六日の指定する | 結果、車輛原木、同数林、ペニヤ より低き関格をもつて関入れる 文は報酬的祭の費却を動誘する 京で潮州國政府軸に瀬林と折街の新理事の三氏が本月中間渡潮、新 り総督府林南郎三津田事務官、交 結果、車輌原木、同型材、ペニヤ 運動が田里務官及び朝木社家谷常

東省、法人考くは個人の代理人 即窓に確せられる。又法人の代理人 回 つた言葉表した

は因為政からの関係を有するの

と、司利金金属分案を附屬と開催、電用語供工物では、電用語供

はなる。またななない。現在が大きないのでは、

總會の質別行で

今期配常に年七分据

年度の単純月状態保のため明鮮よねばならぬ質情にあるので、十九

布とつ言奏合言格理事は出る 側としても深い理解を示し三津

車輛用材を確保 七月より滿洲國が配車

九年度の事材がは確保された、 がに成功、第1四半期の七月より

意識を持つてある。これまで日本

にいて現實的意味では、日本文

職態の立直しの上に一つの動物的

券市場

漢的氏部にあつた作家 てあるが、その中でも 多の新しい試験を持つ 思京の智士成功は、後

的生活文化であった。人々は文化

は国立しか生成されてあないと

公人であたのである●然るに 度の疎開は、その部層文化の

化と思はれてるだものがでは風景

こに対象念への反名を期待してよ 吹きせょうとしてある。それらの 以解消であつた作家選を地方に分

からう。しかし若し作家選が湘南

聞れることは、そ

第八篇等数较是 長岡 軍統陸軍司政長官(廿七月) 海軍司政長官(廿七日) 大阪外頭等一類山 物平 遊をなすものとしたら、國民はか や協衆の高限に別班的生活への途

內閣群令(廿七月) 淨

回定時期音を開催。十八年時期第一般治野ベシ工業和合果素的に消三級治野ベシ工業和合果素的に消三級合果は十八日午後二倍等物町京 京都帶大教授 照正 製パン聯合會問題製べ 廿八日總會

れを如何に理解してあるかといふ

では記夫の一郎は衛用を課に ことは別の物味である、或る炭腫

味を本質に理解してある者は極い

高度の影響形態である費用とい 識されてゐるか

敵用は如何に認

上海、第山に応ても部門に続して一帯に近い、これは一般に前用の約 上海、第山に応ても部門に続して一帯に近い、これは一般に前用の約

得なかったが称がときるよう。歴史が根々として終まれることが一部十九年の歌歌の楽奏が国際してる。

軍をつけてゐると物質の特団が一果工場の如きは彼め多數の斡旋等

勞働實體を把握せよ

併しこれと 奶奶猪の 大多数が削

わからぬが、気に倒大切なもので ることである、これは何故かよく

あるという観点は徹底してあるら

た意味に理解してゐるからであ

であ足りるとなったので可能能

後には松瀬枝にすがつて出て來た

が知じ対してが分窓口事集のみ

場では公然で呼折した一工電が、

一ケ月の休暇を貰つたが、一巡閲 傍で舞れる恣意を続けた、他の工

ある。手管が上げられる等の

げればなられい出来語である。 った、出途に続して確じめ着す。 がある、東大な関心を同けな。名字それぐ、特徴して確立を行 たことは、經濟上がらも、政治・北維方面には高見段經部員の三

え、出際に際となりの草

結果を左に補配する。開査の

しなければなられ本村として

鑛山を視る

に無いてある家族特ち、まとして 戦を理解した一般は異くこの決職

役所が称者である。輪旋の格者は

てあるがこの後型は、彼野にと

称者の総口事集が非常に容易にな

各地工場議山の名で好

ちに自分の好むところに採用して

もらつてそこで慣用された方が好

ひない、さうなるとすれば今のう

も若平間関がある、勿輸此既で

つたことは注目すべきとである。

ので、これは名工場、鎌山、歓源

て、根本的な労働者が取まっ

の一致した見解である、かう

間の関心が主となってある、側

概して成績が認めつた。面自いこ

東端山では人谷の傍時、この後一同れの企業に於ても、復用を置

徴用の認識未だり

[1]

問要称に對して完全法回答を得 のであるが、漁賊ながらこ

のであるが、漁働ながらこの強

とは、原用質問と続して共自し

に、今後の問題として道義的地位 既合如何にかくつてある、要する 地方関係等の使用に対する理解の 指数域の敗戦に努力することも、 そるだが、かうした関係士の生 一人等り七十四十一個代を辨はさ 奥一世二 天 號心 地帯では、世野内壁で困ってあた とが必要なのである。実際興工場 復用をして質に転換めらしめるこ 意識の配上ということに努力し、 は立つ人名が、日を答しろして企

御用の事態と 色から

るが、東京中が従來と大語無い を行うて出動率の耐上を願ってゐ 通信な時期に、長期映動者の孫理 の前上であることで、指統的立政 いっこと、いかにして利用の成績 関用をして呼に変わらしめる金

である。そのは光楽は 機など短いしてある機能の関 に立つ意識、特に地方意識地に自 を難けるかといいいに正さる明心 らないのである、殆どすべての被 細の良し思してはなく、労働能率 今日要求せられてあるのは徳用は があることを示するのであって、 は何にして見る用を行ふかと

前に出動競争を行って最高網に追 ぬものである。既る工場では常用 うな動工作も行ばれたが、それ したところで関形をやるといふや

るが、中には側板壁談といったも

も見受けられる、取る工場では

して見る時は比較的に低いのであ

増進和識に燃える順節上が後板の

費用に対する認識が労務者全地と

はいひ難いであらう、このやうに 理解のし方は徴用の正しい連繫と

> を考慮して特に本年は原木と同れ松を置ぶことになり輸送期係 い。前であつたが、結局七四の

者を入れるとずれば、半年も立つ 技術服务行為、最近人動於 いのである、そこで後用と同時に

り、その味明はむしろ活動に第一 選しい情熱を除けて來た作家であ 生地文化を製造した作品活動と といる。これまで朝鮮や滅がの 家は個人的にも朝鮮と関係はある たことは大きい意識を持つ。同作

府や殿里ではこの好機に中央交換 概への戦災といるべきであり、積 既である▲この放映にだいて、 力能源、誘致、斡旋し、半路の文化 の現役作家道の半島への味明を確

勃影 說明青申越次第23呈 天豹藥 新元配登所的 **是 李四本** 印 キスイ 神經病

ルイレキ 分十三間時布濕 粉末 15000 D1903













本

冒肺 快來一便简 勃有同時長 の間時五一四約 ナイ當迹が換交

豐富。……少量にして効果のびよく。のりよく。菜養

図 時記を記されば世日正午から年後 時間を、世日午後七時半から和信四

四時宝で京城府西四軒町博文寺で記録、金銭計録

優良品撰擇のこを!!

資、大分の第九郎、午後からは、 八群の関東地方の消疾が天々昇 温泉、腫児島の第十歳と渡い 難山に、東は陽森の田間に動勢製器が過まし 等が神前に参巡して版かに直督祭

す激しさを加へつつめる時このでに四年、北に四に歳にまずま 健容はこれを仰言みた人々に力 莊嚴な盛儀 强い感を與へた 澤本大祭 ます、御団知の如く未曾有の決 別に感激に堪へない次第であり また。

って常院は前線と結びついた診断 めて意大な質易を持つてある。

敵

中

朗

K

と勅諭

などの不足の怠に七月から一

ふど防れ 滞在中病気のため手営 病院、<u></u>
島小兒病院、日本醫大病院 ろなお見録の音楽をかけたが、 を受けてある八名の遺族たちに被 長は午後一時五十五分から九段版 大祭儀終日の廿七日郷本大祭委員 【東京電話】朔國神社関れの臨時 御摩博に對しまして関がそ位の事終了に管りまして関係を位の

率仕した潔本大祭委員長は大祭終 委員長談 各位の並んならぬ御協力の結果一 つん神線の何加度とは申り 見學氣分 標 · づれも整備な際間で大して心間は

廠兵造川仁 捨てよ 熱と意氣で指導した

一・「はよりもう」をでは関して計算等を開版立つたが、顕微しく問題され、「微微蛇の炎間線に起うた気が年易使は子夢一がお言えて書」。

前即的な教育歴典に関すべく指導消神を見めて職

一選の機構性解を完成した、國家非常の秋 明、學徒動員不部を新設し學校別是徒励員

惑さころが却つて邪魔になり企業一決して少くない、技術的なともか で、自興しに張ると)、東である。今時の子供、生徒、恩いつた集合が多分に、中の氣程は現在指導幹部層にある。 第27年の大きなが、ある。一、中の全様と対金く贈ってある。 場によっては背嶮迷一親が子供から逆に数ぎされる原は 色々関級になってあるやうだが助してはならないがなくてはならぬ、水ぎに内地でしていならない。 く精神的に単症を指導し得る幹部

た、処徒出師の倒羅の概念といき 時候別群見智士官は墨聞を羽抱い 民即職士の自僚に帰り立つて既に関続である、前線が後を買いて國

地で戦科報を伏さて征で立つた。 り立つた数多若人は散然とペンを 際兵制初の肚丁椒香は今金鮮に開

間と期限を切つを動勢輩仕ではどい問いてある。一週間とか一ケ月

風の反駁を買ふ場合もあつたやう

農民になつた氣持で 朝鮮の屋村は技術員 食糧増育は刻下の急一徒諸君に對する要望をいへば、當

麦、理、■

さん

となって時間下の人材を作りたい 闘の原域によって単行域に一個 防施設事業で全力を注言をい、

今年は内地から歴霊皇夜出身五十の不足に僻んでなり東拓としても 名、鮮内で敷ナ名を採用して敷ケ 月間の錬成を行って各陸場に配置 で働き國家に御奉公して造ひ度い から疑問となり第一線に出た条特 社の統制指導に完全に服従して心 充分認識 特殊使命を

般の解析機関とは異常工学対策は普通し る特殊便能を有する

身階の解成ならびに指導にも充分

なる経験を持つてあるので、今後 へである、たど盆社に外て遊る風 を受け入れたことがあるしい校出 び治徳婦などの削級派徴といる極一 軍人の診察、医師及続に超ぶるので協議

習場の受入れ酸物は整つてゐるが、進程する異態の武芸性情

ある。國家な職に燃えてゐる點で けの解析がなくてはならぬことで ばならぬのは単純に生事をうつだ 受入れる側として最も注意せね一

は単征の方が勝つてはゐても気つ

生活と修練とを相即一概だらしめんと刺してある。工場、工

程度に消滅した作業を消壊し基校と職場、

であつては断じてならない、

しよう、しかし単なる影響の提供

また若い何州を同けて職場に突進 る、必須たる級戦起の別にわれら

ろして行機一體の超姿を動勢に見 れる側もカツチリと大地に腰を下 に、動勢する何も、これを受け

出さっとするのであるから、われ

関した出陣は今船然として関内取

である、残る単征が耐を決して特

級と例けたのだ、文武一階の最級

系統立つた動質本部の指令のもと 象特になり易い、今回は磁に維に はゆる。その場所りの無質にな っしても仕事をなけやりとし、

民味成を効すのは数型の本能であ

は出來たか、こつの方面に「動食への様へを聴く」

勞務接護に

萬圓

てゐない、

かうした情熱を包蔵すし

既のなかには微位得一指導性を影響の調の切替へが大一とよる。またり、ことである、睡眠が次の異生調が落住一 え若い 製造 群地を迎へる際語では一 低限能の対域のことである、睡眠 指導者たる幹部の頭の切替へが大 一型草鉄程度のものをお物びに支給 するというを考へは一掃せねばな では規定がありこれに述いて支給 質然であつて生半可な問題であつ らぬ、動勢の結果に動する報酬は に関する指令が必るとは思ふが、 してなり、朝鮮でもいつれはこれ

> 然と来て資ふと却つて邪魔になっ 頂の度い、昔の客へ方を持つて避

歴史で得定風間を世際に移すこと一

に運転を置く方針である。従って

なほ受入れ想能の待逃その他につるかを身を以て開業せしめる

り如何として物材が完成物にな一次との間とは如何なる差異があ一

統制ある挺身に進む

までの一頭の成績は生物で卅一國一三年四月上げにより一日から廿日 保險では四月一日から保險金額の 殿に年金に都製的数字を示し殊に

が無冠を演得し、二

を四ケ月と短縮した結果、今度項に指支後来の融資期間六ケ月

久市氏▲大阪陸重遊兵廠従駐丁へ山路

相四十名

関係ならびと関係を

(食程は廿世内外)を支給する

この日気株式各級の銀換並ら返れら過ぎる登日路時株主機管用能さ付給和十九年四月二十二年四月二十二年

式會

の立五日目と共同主他の下い色と

全温家族を輸水製場に招待しては

砂役に遊私輩公する氣特で働いて

対殊傾命を充分に認識し、最単の

行は礼職長の軍刀一閃、比烈な排りた東の空を仰いて最後の議解が

敵を追うて離るが知らぬ間に敵

創線、階級提端と関係形成

になさしめ

なく降り在ぐ治験砲、機銃の南の

下でじつと待機、やうやく自みか

手を加へて死物狂の反鳴をして一旦北側に追踪められた敵は物

四月十二日最後の楽碑を決定した「翻奏像が瀬の間を衝いて決行され」四月十二日最後の楽碑を決定した「翻奏像が瀬の間を衝いて決行され

歌塚は北側高地に進出する頃夜は
た、北方高地を早くも変取した突

三人目の黒人兵を突き刺した時 用りもまた破兵で埋つてゐた、山本兵長の

た、敵の手榴弾を喰ったのだ 弯中に揮れるやうな敵痛を眩じ

殿友の立いた、治院長の立いた、何

島の及後と概蔵を反映し切除と保貯浴場帰運動の滑り出しは概念年

日から金飾一郷に縁展けた滅道

影為陸軍省関係圏の被変配済は質いの対力に大長の住所に第一回表

学を提進した成績観念。これがいる三月初から四月にかる三月初から四月にかる三月初から四月にかる三月初から四月にかる三月初から四月にかる三月初から四月にかる三月初から四月にか

名で、関係有功態受賞者は次の如 **默受险新卅七名、有奶酒受险者五** の鬼神も哭く崇高な皇軍魂の凝略である

歌歌で撃鳴して手傾瞰で歌臣最共自横した山本兵皇の仏然を差別とる玄部家が上が、否在天歌を飾る紀総権した手血蔵で添つたが、この高地等極戦に戦略に戦略と戦らないののフ只中に

【カラダン戦線大沼穀道延急廿五日同盟】カラダンに追り詰められた東が最後の匹略を交へ 死力を整して抵抗した五一四層地(カラダが東方セキロ)の攻防こそ今次カラダン湾

山本兵長の

自爆

たる際は、戦野を振

数在住する本所、深川、在原、新

廿九日から一週間半島的務着の多

第一回武功

に逐身功能技能なるもの意思は激化を

段の歌起を促すことになった 野務者は他らなる祇園に形はされ

以で航空献金 京崎道子一部に歌りた

滑出しは上乘

心た神上極遠力非常動

朝郵〇〇九 の築冠 ず一意識力増強に連進するやう一

行機製作資金でと、なほし川昭和 こもる慰問帖甘州を廿六日軍愛國

のであまて、第一回の十八條款

第一回の十八條強船

海上輸送戦に

た合計六千百六十七四世一壁を飛 一枚、非難家は各一國づつ解出し 野長は同脳膀胱氏のうち風景は以

集團的な仕事 業電鮮朝 全力を盡 であるが、営社とし なる単純は十名内外 能が受えれることに 今肢の懸征動員で階 てはこれらの場徒が一

これらの最健は解栄それぞれ社一などを實際的にやらせて見る。

來で置る

整定は

自分は

禁問を修め

でつて

質配に

扱み仕事も全く一般工具と同じ性 いては全て常社の工具と同様に収

てある、特技のない師服役として

家族に割し心からなるは間品や暗

安院教育地区戦演者を指し、全番

- 三百七十九個八十機で昨年同期 しと注り、保険料では四十五萬一 八十二百九十一件で昨年の五割頃

の十割項といえ著増振りである、

武功旗授與式

戦る線を船に

京ない。一般のでは、一般

はあり、食機増産、が荷運搬取り

李英介氏半島 【夏泉記

々の滑り出しである、なほ地方巡

| 「東京配話」 = 陸軍職総形後妻 = |

一百七十二國九十一歳で極めて上

く一ケ所に入れて集團的に實際的 仕事をやらせるに借ってもなるべ

解が直接その間に留うてあるが、 を担難する本大島の

組織は一個整ひ路隠にもすでに温 しい歩武を進めてある 本年に入つてからも法文製館は 心身を食糧増

に従って朝鮮、内地の工場、研部は仁川消兵職、更に東攻科別 究室などに出動した、瞬間部に

内作類を月に五日間、徳外作類(勇であつもりです)

るものがあつた 從頃したが、この成果は多大な 最高原年が京成財軍病院と、

外の城地大干坪を選び、野災戦を

身を続り、食団治療に加力する計・す、その他能がられた仕事にはいに三和関語の地質を通っていまっていまっています。 製造するとこもに東拓跋葛本らび一は一、二年生は一ケ年間に六十日 産に鍛へん

通で軍の交続作戦に計を置らせて 動勢即教育の大精神を費用させた いと思びまず、これの助員日敷 道大原場では蔬菜 の増産産に勢汗を

規能による統領のる道が胜身に、と細心の狂放をなし、「殿正なる

慰問品を贈呈電人遺家族に 更是

・展戦を整く社る影響の影響影響 | ご同じく月五日間つつ金蔵生を動きた設置であっておしゃといふの | 夏する方針である。 たほ説問答案が、屋礁を送り出すわれわれの是 の極端ならびに国事工場の観察をある。 何時でも動員 数間とある本校の

目言し住職一萬数千本を植るてゐ それから校内登地の徹底的利用を

表す、最生の本分と動物の「体化」が最も影響を含むたるものは感動をひと思い、現は壁なる影響者に、計三百七十大名であるが、髪の荷のとになると看代は影響がある。 十名、 画機動が電影器型三十六名 る、年末には戦迫権内の派貸一編 で放踊状を貰った、通年助員とい

· 原京電話】被新用者表彰規定区

車(散納者木油形織町富永正夫

○光相兵 魯邦と大型] 人間

さる田常、海谷田家など四十種がと近い、崎上の学は三部が至五部というが、崎上の学は三部が至五部

滑に出題るだらうと見られてある

日婦懇談會 1元山1日

で姿を見せなかったは語音が四

した、値段の上つたは語気はわか

耐温報で無し間は加

ものでも差支へありません

日時……四月廿九日

京城府民館

大講堂 一時

民間低下では貿易職手小野寺様大 届二民 字悉 P节1名、 (東京)描編電子では一時前条は 4部管下では 要任 長週城 見多津一

天長節奉祀

より第一回表彰を受けるもののつ ち海軍省國際は基狀受賞者三百四 【東京電話】被御用光裳彰規写に (大分)である 陸海軍譽れの有功章

陸軍の表彰者

四十二名

海軍關係は卅六名

たる別なず簡単せんとの希望者が 趣旨を聞き遊へ重要商業に発出中 在住の半島人中最近の疎崩問題の 勞務者に飛機 断い部

に三蔵坪の脚場と長安がは場に 世新作業としてはずでに離島町 上で車関係の仕事をやつてある して車関係の仕事をやつてある。

程あるので新たなる解題に横出

一町井牛、それに山林が四町歩

軍

野型を観彩しようと心ある人達が、 申じ合せ、それぐく自遂的に観彩 寛越に各品質部では感謝のうちと っては中野ないと今回遊休戦用自兵務が良の活動に足の不自由があ 務は日毎に紫忙を極めて來たが、

遊休乗用自動車を献納

へ、足、の補

成北郊 重新南支部長 池田次郎氏) ◇耀南兵部部へ頭用車(同

は空とになった。 手のひ誘い類詰壜 防筋球品として

会験居込とに必

方公室のです

今御來院の際は新來患者でも再來患者でも 投薬紙の入手総々困難となりましたので聞 投藥瓶の活用に付御願

けることにな に至りましたので悪しからず御諒承願ひむなく水樂の調劑を御斷り申上ぐる外なきき方に對しては甚た御氣毒に存じますが止。必ず投資派を御持巻願ひます若し御持巻な必ず投資派を御持巻願ひます若し御持巻な 尚は御持遂せらるる投樂瓶は何れの病院の

京城女子醫學專門學校臘別京城 府 立府 民病院京城 赤十字病院院京城縣學專門學校縣醫院京城醫學專門學校縣醫院京城醫學專門學校縣醫院



國産兵器工業株式 會社 田倉 國之

な言語観を挙げる

東四軒町の火事

甚

世六京原籍索ジイト的社芸規語が

移 御通知

八日参に並ぶした。京年四十一、
「大師原に入院別以中、廿六日平後
「本師原に入院別以中、廿六日平後
「本師原に入院別以中、廿六日平後 失いたのみで無火屋因はニクロー ら最大同転割金と第一当イトを開 移轉先京城府中區本町三丁目三〇番地 食意社 松、町、道、昌 全意と、松、町、道、昌 全意と、松、町、道、昌 全意と、松、町、道、昌

火したこの、担意は約一年四

社候 | 1十六日 午後 | | 時四十分脳 | 1十六日 午後 | | 時四十分脳 日午後三時自名に於て帰式に依り相談

京伽文店及梁谷桥天民は廿六日午 東京海上火災保険 昭和十九年四月二十八日昭和十九年四月二十八日昭和十九年四月二十八日昭和十九年四月二十八日

和九結月以日東京海上大災保險株式和 受 一分腦溢血にて死去致候 四十分腦溢血にて死去致候 交 上 東谷幹夫縣 匹月二十 豐 自治郎藏和夫

と減ら試験し一萬國を設計したこ一面への抵酬を見ることとなったが 秦祖女人城第一日の廿二日紀 話」中行政政際領は国 は京城方面に、浴里島とは子場方 道源域(朝鮮質収越)の各別軍は 帆船を負責必ずや山下布寮仙の湯堪へない。全部推薦の粉組及び機 現在貿牧前の財然で連載してある 個めて熱心に現地の状況を聴取訳 表した、時態壁によって、漁船 進することと同する 何に感吸し奮起一番場下投も折回 黄海線 一項目である 月日と長役の関係の三つのが消と 答本類地と声楽上の出生年 間・七項目について中告する 答問 前の当期及び耐入の仕方につい

開作以項加門

從業上の地位、八、長後の関係、 月日、五 配偶者の何無六 所職 い、それでもなほ解となければ人 名、三 男女の別、四 出生の年 の耐能及び腑臓及特殊技能、七 民間又は過期、十 星期の十

文もや一両四を投げ出した。 学段と於いても単縁に何とかし **海援護活的の一部とせられたい | こととなり、 廿七日左記の如く後 |** 根源である。原がであるが努務 たいと思ってある

度は荷役勢統治等が貿易政権し 発ない。 内知等の例とならひ る接続は十分か、接触哲等の施 廿七日午後随身を禁回釜山

ある 大野知事談

(五〇I 列車) (五〇I列車) 四三五一大〇五一八三五

たし担に大幅となり変を圏上、 上に工場点をは次通数名像となってある。以上の如き主旨をもってある。以上の如き主旨をも

世宅を 駅の引てる 田宅の 第七に 水 として 勝生した 等人見城所の住宅難は樹々深圳で

地に地域の国門を示しておられる

る店舗を題放して郊外へ適正 企業を検として繁集地域にあ

受験旅客を優先扱ひ

●場 京城府民館 日時 四月廿九日

大講堂

ですると共に町電販いに綜合配給

といる選択だ。これに加へて生活一は人口の密度に取締機様が伴はずーする方針を関で都市の建設を促退

類隔および官公更の公務旅行なら、緊急旅客の警送帰保や目さし更人

に他に的制限を動行するとともと 変通局では去る

一日から旅客輸送

天長節奉祝の夕

と移戦を批制されたので郊外一帯

としその関引率は普通回数券に づく郷車されるものと類似

の金属に三人が同居する「省屋」、世紀にしてきた一最近都市場が別して、というな時であるので今後の金属に対人の金属に対してきた一最近都市場が別して、というな時であるので今後の金属に対している。

といるな情であるので今後

ものとみられる

の推進により郊外の人口常度は高

町會單位に綜合配給所を設置

合せ鮮酸自給品を主限に少數の主

要物質に限定しその規模は五百月 所の配給品目は輸送の規制と脱み

医多数 後援朝 鮮 軍

することになった、この綜合配紹

猛

(五〇]列車) (五〇三列車) (五〇三列車) (五〇三列車) (五〇三八五八〇三171八 陳州政 明波級 土成塔

もので関係者を描く感激せしめて一

土 海 線

◇里岡報三元鐵納陽酸 源州宿 (五二四)單) (五二四)單) (五二四)單) (五二四)單) (五二四)單) (五二四)單) (五二四)單) (五二四)單) 定期券に協力を

南鮮親察の山下さん、又も寄附

田中時計の修理は

あのでその通信性に動する神然をる通知、通路用として計畫したる通知、通路用として計畫した

住宅難緩和に

役

(五二列車)

01.10

盟

3

大號 II 量 II 10]

っでも数科群を閉じて全校生を助

西郷水文部では電探通間の第一百

順氏 GEE 以上二名、高龍四

開展第下では銅工工具向野選号氏

では、現合自動車がはの数 この制度は重内に依ける。 では、現合自動車がはの数 この制度は重内に依ける。 坂本京電運輸部長一般に要望

申告は正しくの手引き

関連をディスの他の軍人拡弾に調一に世帯の海い場合に終日論宅レルー

自己の世界より申告する

(◆)本類が当印現在地と同一
在地と同一で本籍の場合をき

自社の社務旅行者は優先取扱いを

一、接移、京都自然出版层、高、橋 注 (中) 京都 (市) 宗都 (

佐猛

用如(同志安正次内三原北安工 《四级邻代没田中悠三郎氏》令 深川兵造心。第1日中悠三郎氏》令 深川兵造心。第1日中悠三郎氏》令 深川兵造心。第1日中悠三郎氏》令

開催)で、ないらって、空間大気発覚一部森田仙堂

革(同京催代宗練権賢六明氏) 所議習生募集 方記選 地方官更養成 整照地

氏) Q奶罐~潤

の自宅で数行した

びに成力増殖の直接関連する特殊

る、なほ所心の意思及び脳部は出る、なほ所心の意思及び脳部は出

一条族生居する場合は

のはこれを歴史版扱とすることと 受験がまたは諸明書を所持するも および各種難成所ならびに訓練所 行つて死たが、今回さらに各風役

登城または人間、人所者にして

び二十七月の自各門に担じ

が発

基 京 京

城

報

楽中であるが、その聖頃

日城

質問を加へて放戦した

答 四人の一般が測在の時期

| 田川及本郷、二 氏 | 際は字でに遂行と定舗の心さて 張河如何 | しては調査は調査は必派、 | | | | | | ある髪園班回覧校をみて重へはよ

> 四月卅日またはその以前 放射ではどうするか

一口関在はによくきいて正しい記入 をすることである **治** 申告を指心を活、不**定**の 一世の中倍をしたりこのころ新版な、日午前八時までの所在を置し、そ、清は特別地域関係をする、このと 関系の概言をよる意味し耐くも不 不實の申告は嚴罰 に出続する旅客に対しては五月一 答

な影響を楽し古へすればよい との申告をしないやうに與へられ とで問題になってある脚脈人口な 間調金の時期に旅館などに 與つられた義務を果せ 問別に世界をおう道動の國人を打引挙載である。 人にして朝在の時期に主人の店間、別に世界をもつ通勤の間

部に現在した者は何れの世俗に 店舗が主人の世俗である は部隊と認めて調査の必要がない 問防空転職隊の調査は

間今

ついては傾め調べて強いて正しい

と人口製造規則の二つに協力な部

即からり、また脚をはでも緊急を

宿泊中心軍人展場を調査を要す

告を妨げた者に對して登越朝在法 申告をした岩、製造を数なく調査

世際として調査する 答、現在地を本動地と見伽し

間 本教(前の祖大)にいるする 同一であってもは円板本樹地状に関 本教(前の祖代)にいるする 同一であってもは円板本樹地状に 1) 開及公本教が 理問目回答師に経験をひく

(名) 全部に記入かなす(名) 住門衛に総裁、本郷衛は 卸入する

甲種合格四割

近、合格率の出典四級三分、第二 人徵兵檢查

| 学品人母子事 | 下阪2 | 半島人母子事 | 下阪2 |

解科会の分配」が手張りとなって 資金が 山一の投資信託 探護的フーハ 市 - 神しいな明書向量 は平暇は一切地址で致します。 画の選用としては政高率のものです。 有利な物典ある山一の投資機能は、 山一般祭京城支店

で勢行する 後二帝四十分数務中以溢血之て結 逝、卒三四十七、既的江廿八日午 多近 藤 曹 田 田 重太俊治昭

乘縣人员、五十名◆入朋資格 迷 《傳十二指膓丸 (會) 海(安部医

中橋幸馬 永川見

所

堂

府